

平成 31 年度 中長期計画

社会福祉法人 秀幸福社会

高齢者部門

障がい児部門

障がい者部門

I <環境>

茨木市において高齢化が進んでおり、平成 29 年 11 月発表ではあるが、総人口 281,746 人のうち、65 歳以上は 66,431 人であり、高齢化率は 23.6%である。今後の人口ビジョンとして、65 歳以上の高齢者の割合が平成 32 年には 24.5%、平成 37 年には 25.6%に到達すると茨木市は発表している。このように高齢化の進展により認知症の課題や生活上の困りごととも複雑・多様化し、きめ細やかな相談支援体制の整備が必要となり、圏域や相談支援体制、ネットワークについて見直しが行われ、これまでの 7 つの日常生活圏域を 14 エリア（小さな圏域）5 圏域（大きな圏域）に再設定された。今後、それに基づいた包括的な（心身の健康保持、生活の安定、関係機関との連携等）施策の支援をするべく、昨年同様、社会福祉法人として高齢者だけではなく、障がい者、子育て支援に対しても積極的に社会貢献を実施していくことを使命としていく。

<事業内容（現在）>

特養、短期入所、通所介護、通所介護相当サービス、認知症対応型（予防）通所介護、訪問介護、訪問介護相当サービス、訪問型サービス A、居宅介護支援、診療所、配食、特定旅客、在宅介護支援、生活困窮者レスキュー、地域包括支援センター、コミュニティソーシャルワーカー、障がい者相談支援、放課後児童デイ、障がい者支援事業(居宅・重度障害・同行援護)、地域移動支援事業、就労継続支援 B 型、地域活動支援事業Ⅲ型

<課題>

- (1) 介護事業者・行政・医療・地域等との連携体制の構築によるサービス力の向上
- (2) 介護事業者のサービス提供能力の向上（量・質）、ならびに利用者ニーズに応える機能開発・展開
- (3) 介護職員の人材の定着・確保
- (4) 介護保険法の改正に対応
- (5) 生活困窮者に対する自立支援への取り組み
- (6) 障害児から障害者に向けての総合的支援の取り組み

II. 中長期方針（期間：平成 31 年度～35 年度）

31 年度は新たに見直しされた圏域や相談支援体制の構築及び、ネットワークに基づいた包括的支援の強化を図り、社会貢献事業の取り組みを行う。

- (1) 介護ニーズの現状と将来動向の把握
- (2) (1) に基づく既存事業の改廃・拡張プランの策定
- (3) (1) に基づく介護サービス機能の改廃・開発プランの策定
- (4) 介護サービスの質を下げないための内部体制の構築

III. 短期目標

① 地域ニーズの把握

【継続】

- ・地域情報の把握
研修会への積極的参加、職員間での伝達研修での情報の共有化。
- ・近隣の方々の情報を入手
地域包括支援センター及びコミュニティソーシャルワーカーの配置、地域ケア会議の充実。

- ・「福祉相談会」の定期開催
福祉サービスの制度につなげる
- ・生活困窮者・中間就労等への支援
情報入手、積極的な支援を行う。

② 福祉ニーズへの新規取り組み・拡充

【新規】

- ・茨木市障害者相談支援委託事業業務を新規受託。
相談ひまわりにおいて、平成 31 年 4 月より三島・庄栄エリア及び東・白川エリアの 2 エリアにて運営を開始。行政と連携をとり、障がい者の権利擁護のための支援を行う。
- ・地域包括支援センター運営事業業務委託を新規受託。
平成 31 年 4 月、既存の茨木市地域包括支援センターエルダーとは別に、新規受託した東・白川 地域包括支援センターにて運営を開始。行政と協力して、高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的及び継続的な支援を行う地域包括ケアの推進を図る。
- ・訪問型サービス A を開始。
平成 30 年 12 月 1 日より、庄栄エルダーホームヘルプステーションにて開始。高齢者の介護予防における日常生活の支援を図る。

【継続】

- ・更なる障がい者支援の充実
ひまわり・フォルテひまわりにおける継続的な障がい児への取組、ひまわりの杜における地域活動支援Ⅲ型における一般障がい者への取組を、次のステージである就労継続支援 B 型のファーム大岩の杜に繋げていき、さらに一般就労へと繋げていく。
- ・庄栄・未来・高槻における認知デイ事業所の構築と拡充
- ・福祉行政サービスへの継続的な専門職連携の構築。
福井多世代交流センターへ機能訓練士・看護師・学習支援者の派遣

③ 介護サービスの充実

【継続】

- ・統一された介護サービスの提供
対象となる職員を、より計画的に内部外部研修に参加、参加出来なかった職員に対する伝達研修により、全職員のレベルの標準化を図る。
- ・「認定特定行為業務従事者」の 100% 取得
利用者の重度化（ADL の低下等）により医療行為の必要性が不可欠、計画的な取得を図る。
- ・利用者の QOL の維持と向上
今後の利用者の ADL を見据え、PT・OT を 1 名ずつ配置し、効率的な訓練を行う（特養・デイ）。
- ・外部評価機関受審による事業体質強化
「第三者評価受審」、「外部監査」の実施
- ・個々の利用者のニーズに応えた、快適なサービス提供
他事業所と密に連携を取り、利用者情報を速やかに共有。

④ 職員の確保

【新規】

- ・茨木市開催の訪問型サービス A 従事者養成研修受講者の採用
行政と連携体制をとり、受講修了者の積極的採用を図る。

【継続】

- ・「エルダーの魅力」「介護職の魅力」を伝える
ホームページ求人媒体への年間掲載、近畿圏内中心の学校訪問活動を年 4 回行う、就職フェアへの積極的な参加。
- ・無資格者の積極的採用
家賃補助、資格取得に向けた独自の奨学金制度等をアピール

⑤ 職員の育成

【継続】

- ・職員の身体的負担の軽減
介護機器の積極的導入。(見守り支援システム、立位補助機、スライディングシート)
- ・効率的な研修計画の策定・実施
キャリアパスにおける職務等級定義に沿うよう計画
- ・チューター制度
新入職者に対し技術的、精神的にいつでもフォローできる体制を維持。
- ・情報の共有、絆の強化、コミュニケーションの円滑化
「チームで問題解決できる体制づくり」を目指し、定期的にミーティングを開催
- ・毎月第三火曜日に産業医による健康相談及び体調管理指導。
- ・勤務 2 年目以上のやる気のある非常勤職員の「常勤職員」へのシフト推進。
- ・毎年 1 回 (10 月開催) 他施設の方及び、外部講師を招き、

⑥ 地球環境保護への取り組み

地球温暖化防止や、限りある資源の保護のため施設全体でエコ活動の推進取り組み (月一回エコ会議)
(年次別削減目標)

年度	電気	水道	ガス
27 年度実績	400,294KWG0.3 増	12,704 m ³	32,580 m ³
28 年度実績	492,598KWG23% 増	12,000 m ³	35,140 m ³
29 年度実績	510,000KWG2% 増	12,000 m ³ 2% 減	35,000 m ³ 2% 増
30 年度目標	510,000KWG	12,000 m ³	35,000 m ³
31 年度目標	510,000KWG	12,000 m ³	35,000 m ³
31 年～35 年目標	30% 増	20% 減	65% 減

※平成 27 年 6 月より空調機が従来のガスヒーポンから電気ヒーポンに変更になりました。

IV. 既存事業の3ケ年目標と運営指針

目的 エルダー各事業の継続的・安定的な運営を図る為、より確固たる基盤を構築すること。

	29年度実績	30年度目標	31年度目標	運営指針
特 養	稼働率 92.7%	稼働率 100%	稼働率 100%	利用者一人一人と向き合いニーズを把握、創意工夫をして充実した毎日をお過ごしていただく
ショート	稼働率 102.7%	稼働率 100%	稼働率 100%	利用者のニーズに応えられる介護力の提供提案実施、家族、ケアマネにも詳細を伝え、安心した利用提供。
デイサービス	一般 1079.8名 認知 181名	一般 1265.8名 認知 258.3名	一般 1,274名 認知 260名	高齢者のニーズに対応、見える化を目指す。報連相を常に実施し、解除力に繋げていく。
ヘルパーステーション	1761.8時間	2,000時間	1,900時間	安心・安全に利用者のニーズに合わせた支援の充実、連携を取り総合的な知識を目指す
ケアプランセンター	185.8件 予防・総合 37.6件	245件(35件/1人) 予防・総合 70件(10件/1人)	210件 (35件/1人) 予防・総合 60件(10件/1人)	利用者の思いをしっかりと受け止めること。即行動することで利用者、家族、他事業所の信頼を得てプランを増やしていく
エルダー包括	給付 86件 総合支援 108件	給付・総合支援 180件(20件/9人)	給付・総合支援 120件(20件/6人)	地域ケアシステムの構築のため医療と福祉の連携強化に努め、非自発的な高齢者のアウトリーチを行う
東・白川包括			給付 80件 (20件/1人)	関係機関とのネットワーク構築を継続的に行うと共に、地域住民への情報提供や支援を行い、地域の高齢者が住み慣れた場所で安心して生活できるよう活動する
配食	901食 23%ダウン	1,350食 1%アップ	1,300食	新規利用者獲得の取り組み。利用者満足から継続へ繋げる

V 施設整備等修繕計画

目的 設備修繕、改築等に備え、事業再生産できる財務基盤の確立

単位：千円

庄栄エルダー建物修繕に関する計画表		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
部位(見積先)		築19年	築20年	築21年	築22年	築23年	築24年
建物工事	防水、外壁改修、鉄部塗装他	0	0	0	0	0	19,000
	壁ビニールクロス張替え工事	0	0	0	0	0	0
設備工事	電気、給排水、	0	0	0	0	29,000	0
	昇降機	0	0	0	12,000	0	0
	空調設備	0	0	5,500	0	23,000	0
	電話設備	0	0	0	0	0	0
工事仮設工事諸経費		0	0	0	0	15,000	7,000
その他費用メンテ	定期報告・受水槽メンテ料	380	380	380	380	380	380
計		380	380	5,880	12,380	67,380	26,380
庄栄エルダー積立計画					23,000	23,000	23,000
累計		282,620	282,240	276,360	286,980	242,600	239,220